

令和6年

第5回仙北市議会定例会

市政報告

仙北市

令和6年第5回仙北市議会定例会 市政報告

令和6年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、7月、8月に発生した大雨と台風についてです。

7月9日から大雨では、入見内川いりみないがわの水位が上昇したため、午前6時30分に災害警戒部を設置、同時に西長野地区へ避難指示を発令し、花葉館へ避難所を開設しました。7月10日、市内3か所へ自主避難所を開設し、2人が避難しました。

7月24日から大雨では、25日午後4時に災害警戒部を設置し、市内3か所へ自主避難所を開設しました。この大雨では、県南部の他市町村や山形県で人的被害や建物の浸水被害、堤防の決壊等の大きな被害がありました。被災された地域の皆様に衷心よりお見舞い申し上げますとともに早期の復旧復興を祈念いたします。

7月の大雨では、市内で人的被害や建物被害はなかったものの、農林水産関係で被害がありました。水稻、大豆、えだまめ等の冠水や浸水による被害、田の畦畔けいはんの崩落、水路の損壊、頭首工の損壊、養殖施設の浸水によるヤマメの稚魚の流失被害、林業専用道かきく(鹿の作線せん)で路肩の一部崩落が確認されています。

8月6日、秋田・山形大雨について佐竹敬久さたけのりひさ秋田県知事や県南の8市町村長とともに、松村祥史まつむらよしふみ防災担当大臣、鈴木俊一すずきしゅんいち財務大臣、松本剛明まつもとたけあき総務大臣、斉藤鉄夫さいとうてつお国土交通大臣、鈴木憲和すずきのりかず農林水産副大臣に緊急要望を行い、支援をお願いしました。

また、8月12日、台風5号が接近し、午後1時に災害連絡室を設置して警戒にあたりました。市内3か所へ自主避難所を開設しましたが、幸い人的、建物被害はありませんでした。

これからも台風や秋雨前線あきさめぜんせんによる大雨が予想されることから、気象情報に注視し、早めの対応と警戒にあたります。

次に、行財政改革についてです。

財政の立て直しを目的として、一般財源を主とした95の事務事業評価を実施しました。7月12日、部長等会議構成員による一次評価、8月5日、各産業分野等に精通した方々で構成された総合政策審議会による外部評価を経て、8月29日、副市長、教育長とともに最終的な事業の妥当性の判定を行いました。総合計画で示している各部局の施策の評価も今後予定しており、これらの結果については、まとめ次第、改めて皆様にお示しいたします。

次に、仙北市人口動態についてです。

7月31日現在の人口は2万3,091人で前年同月比604人減、世帯数は1万316世帯で前年同月比53世帯減となっております。今年度7月までの出生届出数は26人となっております。前年同時期の出生届出数は25人で、1人増という状況です。また、7月の転入は35人、転出は36人となっております。

引き続き子育て支援や若者関連施策の取組について、積極的な情報提供に努めます。

次に、一般会計補正予算(第4号)についてです。

補正額は、5億2,831万5千円の追加で、補正後の額は216億3,031万2千円です。主な事業は、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費、定額減税補足給付金事業費、有害鳥獣駆除事業費、校務支援システム運用事業費、農業用施設災害復旧事業費、公共土木施設災害復旧事業費などです。

それでは、各部局の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇公共施設マネジメント事業について

令和5年度に公共施設等総合管理計画を改定し、現在、施設の老

朽化度調査や施設整備の優先順位の明確化に取り組んでいます。

7月3日、全庁横断的な取組を推進するため、第1回公共施設マネジメント会議を開催し、課題を共有しました。また、7月22日から市の277施設のうち37施設の点検を行いました。

今後、点検結果を基に短期的・長期的な予算の平準化や公共施設のあり方についてさらに検討を進めます。

◇大仙仙北美郷支部消防訓練大会について

7月14日、大仙市で開催された秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会において、小型ポンプ操法の部で第4分団が第3位に入賞しました。規律訓練の部では第10分団が準優勝し、各部において好成績を収めることができました。また、個人表彰でも小型ポンプ操法2番員の部で第4分団の佐々木剛ささききこう団員が受賞し、規律訓練指揮者の部で第10分団、藤枝誠ふじえだまこと分団長が受賞しました。

◇旧中川集落センターの貸付について

8月19日、旧中川集落センターについて、仙北市シルバー人材センターと貸付契約を締結しました。角館町北野にあるこれまでの施設が老朽化により年度内に解体することになっており、2月から協議を進めてきました。

現在、地域住民の皆様は、隣接する中川コミュニティセンターを利用しており、貸付に関して影響はないものと考えております。

◇市税等の収納率について

令和5年度の市税等の収納率は、前年比で普通税と目的税を合わせた一般税が0.1ポイント増の96.0%、国民健康保険税が0.3ポイント増の87.6%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が0.6ポイント増の98.3%です。

また、令和6年度の速報値ですが、7月末現在の市税等の収納率は、前年比で一般税が0.3ポイント増の54.3%、国民健康保険税

が 2.3 ポイント増の 17.6%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が 4.1 ポイント増の 24.7%です。

引き続き収納率の向上に全力で取り組んでまいります。

【企画部】

◇ふるさと納税について

主力返礼品である米の価格が全国的に高騰し、1キロあたりのふるさと納税寄附金額を値上げして対応している状況にありますが、8月25日までの寄附金額が対前年比 188%の8億9千万円ほどと好調を維持しております。

米不足の状況にありますが、常に米相場を注視し、より多くの方々からご支援いただけるよう努めてまいります。

◇高度外国人材等受入促進事業について

今年度新たに採択されたデジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施する、高度外国人材等受入促進事業の2業務について、プロポーザル方式による事業者選定を行いました。高度外国人材等しょうへい招聘調査業務は、みらい株式会社、グローバル雇用・創業ワンストップセンター企画業務は、株式会社遊名人がそれぞれ採択され、業務委託契約を締結しました。

本委託業務と今後予定している国家戦略特区制度の新たな認定事業の申請と併せて、新規雇用や創業を支援することで、地域経済の活性化と定住人口の増加を目指します。

◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会要望活動について

7月23日、24日、期成同盟会会長である老松博行大仙市長おいまつひろゆきほか関係する首長等と要望活動を行いました。国土交通省、財務省のほか、関係する国会議員へ要望書をお渡しし、新仙岩トンネル整備の早期実現について要望してきました。

国土交通省からは、地質調査の結果を反映した事業計画が示された後に、どのような支援ができるのか検討していく旨の話があったほか、国土強靱化・防災対策はもとより、それ以外の分野でも、重要な役割を果たすものと承知していることから、幹線鉄道のあり方について、各方面に見直しを働きかけていきたいとの話がありました。

引き続き、新仙岩トンネル整備の早期実現に向けて全力で取り組んでまいります。

◇「TAKKO MaaS」の実証運行について

8月1日から11月30日までインターナショナルスクール誘致事業の一環として田沢湖地区において、英語で経路検索やバス・タクシーのチケット購入ができるサービス「TAKKO MaaS」を JR 東日本に委託し、実証運行しています。日本語に不慣れな関係者が言語の壁を意識せずに市内移動ができるようにするものです。

利用者アンケート等から得られる情報を検証し、より最適なモビリティサービスの構築を目指します。

【市民福祉部】

◇社会貢献支援財団表彰について

公益財団法人 社会貢献支援財団より、市川晋一いちかわしんいち西明寺診療所所長が「社会貢献支援者表彰」を受賞することが決定しました。

この表彰は、社会の各分野において、社会と人々の幸福のために尽くされた方を顕彰するもので、長年にわたり地域住民の健康のため真摯に取り組まれた市川先生の活動が評価されたものです。表彰式は、12月2日、都内の帝国ホテルで行われる予定です。

市民の皆さんと共にご功績に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

◇医療 MaaS について

仙北市が導入した医療 MaaS の取組が報道機関を介して広く周知され、県内外から視察がありました。

これまで、秋田大学医学部の医師や看護師、新潟県佐渡市議会市民厚生常任委員会、北秋田市健康福祉部及び診療所関係者、秋田県議会福祉環境委員会、鹿角市健康福祉部及び医療関係者が医療 MaaS 車両や西明寺診療所を見学しました。

今後、秋田市立秋田西中学校、大分県杵築市議会厚生文教常任委員会が視察の予定です。

現在、角館総合病院と田沢湖病院に対して、医療 MaaS 利用の検討を依頼しており、これからも先進事例として全国にPRしつつ、幸福度全国 No.1 を目指して市民に寄り添い、さらなる活用を進めてまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇台湾アジア太平洋国際温泉旅行協会の来訪について

6月29日、玉川温泉と温泉提携を結んでいる台湾台北市北投温泉の台湾アジア太平洋国際温泉旅行協会名誉理事長の周水美氏しゅうすいびほか50人が来市されました。同日、市国際交流協会とともに歓迎昼食会を開催し、交流を深めました。

今後も台湾とのさらなる友好親善交流を進めてまいります。

◇TAZAWAKO BLUE WEEK2024について

7月1日から6日まで、秋田アウトドアベースが主催するTAZAWAKO BLUE WEEK2024 が開催されました。これはアウトドアアクティビティを通して環境問題について考えてもらうことを目的として行うイベントです。

7月7日は大雨のため中止となりましたが、6日は、田沢湖オートキャンプ場縄文の森たざわこを主会場にメインイベントが行われ、参加者がアウトドア体験を楽しみました。市としても重要な取組として活動してまいります。

◇各種スポーツ大会について

7月13日、14日、仙北市馬術競技場を会場に、第51回東北総合スポーツ大会馬術競技が開催されました。仙北市での開催は7年ぶりで、東北6県の選手が出場し、日ごろの練習の成果を発揮しました。

また、7月27日から30日まで田沢湖スポーツセンターを主会場に、第62回全国スポーツ少年大会が開催されました。開会式会場の仙北市民会館では、大会会長の益子直美ますこなおみ本部長から挨拶があり、全国からの団員及び指導者、184人がスポーツや野外活動を通して交流を深めました。

◇第37回田沢湖マラソン開催中止について

7月30日、田沢湖マラソン実行委員会を開催し、9月15日開催予定の「第37回田沢湖マラソン」の中止を決定しました。

7月7日の豪雨により、田沢湖畔の県道に土砂が流出し片側交互通行となっており、さらに流出部上部には土砂溜まりがあって、今後、大雨が降った場合にそれが流出するおそれがあり、大会当日までにランナーの安全確保が難しいことから、協議の結果、残念ながら中止の判断となりました。

今後は、土砂流出箇所が国有林であることから、抜本的対策を早期に講じていただくよう関係各所へ要望してまいります。

◇家族留学について

8月2日から4日まで、今年度で4回目となり首都圏の親子が参加する「家族留学」が実施されました。これは仙北市農山村体験推進協議会が企画し、県や市の教育委員会と連携して実施したものです。

今回は9人が参加し、クニマスを題材とした探究型学習や農家民宿に泊まって、地元の方と交流を深めました。参加者からは「子どもだけでなく大人も勉強になった」という感想をいただいていることから、関係人口創出にもつながる特色ある取組として、継続的に実施できるよう協力していきます。

◇台湾トップセールスについて

8月18日から22日まで、秋田空港発着のチャーター便を利用して台湾を訪問しました。昨年に続き秋田県トップセールスと併せた日程で、佐竹敬久秋田県知事や県内の各首長と関係機関の訪問を行いました。高雄市政府を表敬し、初めて陳其邁^{ちんきまい}高雄市長とお会いしたほか、台湾チャーター便については3月下旬までの運航継続が決定しました。仙北市独自の活動として、姉妹校3校や連携している北投温泉、高雄市政府運動発展局、姉妹湖交流を続けている台湾自来水会社の皆様と意見交換し、今後も連携を強化していくことを確認しました。

今回の訪問をこれからのインバウンドの消費拡大、誘客に確実につなげていきます。

◇小里内閣総理大臣補佐官視察について

8月22日、23日、農泊地域視察として小里泰弘^{おぎとやすひろ}内閣総理大臣補佐官が仙北市を訪れ、懇談しました。これは、小里補佐官から仙北市農山村体験推進協議会への視察要望があり実現したものです。

今後も国や関係機関と情報交換を行いながら、本市の特色である農泊等の取組を強化していきます。

◇第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」受賞について

仙北市が行っている地方創生特区制度を活用したインバウンド誘客の取組が審査員特別賞に決定しました。

ジャパン・ツーリズム・アワードは、日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局が主催し、「旅のチカラ」の再生と、持続可能性の確保につながる組織等の取組を、参考となる事例として表彰するものです。受賞を機にさらにインバウンド誘客を促進し、地域経済の発展につなげます。

【農林商工部】

◇ツキノワグマの有害捕獲状況について

8月20日現在、有害捕獲されたツキノワグマは40頭となっております。また、古城山公園内は引き続き立入禁止の措置を継続し、捕獲用檻を設置しています。

人身被害はこれまで1人となっておりますが、これから実りの秋を迎え、昨年同様、出没する機会も増える可能性があるため、今後も市民への注意喚起を継続し、情報提供等を強化します。

◇サテライトオフィス誘致推進事業について

8月28日から30日までサテライトオフィスの誘致に向けた視察ツアーを実施しました。首都圏等から5社5人が参加し、企業視察や経営者とのディスカッション、角館駅前のシェアオフィスの見学などを行いました。誘致に結びつけ、地元の若者の雇用に繋がるよう引き続き取り組みます。

【医療局】

◇田沢湖病院での電子カルテシステムの運用開始について

7月1日から田沢湖病院で電子カルテシステムの運用を開始しました。導入当初は、手続きに時間を要し、ご迷惑をおかけしましたが、今後、電子カルテシステムを最大限活用し、業務の効率化や、より質の高い医療サービスの提供に努めます。

◇秋田県医療措置協定の締結について

秋田県の感染症予防計画改定に伴い、新しい病原体による感染症、いわゆる新興感染症の発生時に迅速かつ的確な医療提供体制を確保するため、あらかじめ体制を定める秋田県医療措置協定を、田沢湖病院は8月16日に、角館総合病院は8月21日にそれぞれ秋田県と締結しました。病床確保は角館総合病院で9床、また両病院で発熱外来を開設する内容となっております。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本定例会に提案している案件は、報告関係3件、条例関係1件、予算関係5件、決算認定関係12件、その他5件、人事関係2件の計28件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。